

□ KING JIM

Open Ear Wireless Headset

# Call Meets

CMM10

耳をふさがないヘッドセット  
「コールミーツ」無線タイプ

取扱説明書

# はじめに

このたびは、耳をふさがないヘッドセット「コールミーツ」無線タイプ(CMM10)をお買い上げいただき、ありがとうございます。本製品をご使用のときは、必ず本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することはおやめください。
- 本書の内容は予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
- 本製品は、日本国内専用です。
- 本書の作成には万全を期していますが、万一誤りなどがございましたら、当社までご連絡ください。
- 本書に記載されていない操作はおこなわないでください。事故や故障の原因になることがあります。
- 製品改良の為、予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。
- BluetoothワードマークおよびロゴはBluetooth SIG, INC.が所有する登録商標であり、(株)キングジムはこれらの商標を使用する許可を受けています。
- Siriは、Apple Inc.の商標です。
- Android、GoogleはGoogle LLCの商標です。
- Qualcomm aptX is a product of Qualcomm Technologies, Inc. and/or its subsidiaries. Qualcomm is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States and other countries. aptX is a trademark of Qualcomm Technologies International, Ltd., registered in the United States and other countries.



- キングジム、KING JIMは株式会社キングジムの登録商標です。
- その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

# はじめに


## 安全上のご注意


必ずお守りください!


お使いになる方々や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。本製品をご使用のときは、必ず本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

表示された指示内容を守らずに、誤った使いかたによっておこる危害および損害の度合いを、次のように説明しています。


次の絵表示で、お守りいただきたい内容を区別して説明しています。

 してはいけない「禁止」の内容です。


 必ず実行していただきたい「強制」の内容です。

 **危険** この表示を守らずに、誤った使い方をすると、「死亡または重傷などを負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高い危害が想定される」内容を示しています。

- ⊘ 高温になる場所(火のそば、ストーブのそば、炎天下など)での本製品の使用や充電、放置、保管をしないでください。破裂・発火・発熱の原因となります。
- ⊘ 指定の方法以外では充電しないでください。破裂・発火・発熱の原因となります。
- ⊘ 釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。破裂・発火・発熱の原因となります。
- ⊘ 本製品を分解、または改造しないでください。火災・感電の原因となります。
- ⊘ 同梱のUSBケーブルは本製品専用です。本製品以外の充電には使用しないでください。他の機器を充電しますと、過大電流または過大電圧で充電される場合があり、他の機器のバッテリーを漏液・破裂・発火・発熱させる原因となります。
- ❗ 使用中に万が一、煙が出る、においがする、異常な音が出るなどの異常な状態がみられる場合は、使用を中止してください。そのまま使用すると破裂・発火・火災・発熱・発煙の原因となります。

 **警告** この表示を守らずに、誤った使い方をすると、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。

- ⊘ 自動車、バイク、自転車など、乗り物の運転中は絶対に使用しないでください。交通事故の原因となります。
- ⊘ 周囲の音が聞こえないと危険な場所(踏切、駅のホーム、工事現場、車や自転車の通る道など)では使用しないでください。
- ⊘ 本製品を踏んだり、落としたり、叩いたりなど、強い力や衝撃を与えないでください。破損することがあり火災・感電の原因となります。破損した場合には、使用を中止し、USBケーブルを抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- ⊘ 直接日光の当たる場所、暖房器具の近く、車の中、高温多湿やほこりの多い場所に置かないでください。
- ⊘ 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・破裂・感電の原因となります。
- ❗ 充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しないときは、USBケーブルを抜いて充電を止めてください。内蔵バッテリーの破裂・発火・発熱の原因となります。

 **注意** この表示を守らずに、誤った使い方をすると、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

- ⊘ 大音量で長時間使用しないでください。聴力に悪い影響を与えることがあります。
- ❗ 肌に異常を感じた場合は、すぐにご使用を中止してください。
- ❗ 本製品を使用中に気分が悪くなった場合は、すぐにご使用を中止してください。
- ❗ 万が一、本製品または本製品の一部分が破損した場合は、そのまま使用せずすぐにご使用を中止してください。
- ❗ 使用する前に音量を小さくしてください。突然大きな音が出て、聴力に悪い影響を与えることがあります。

# はじめに

## 取り扱い上のご注意

- 電子機器の近くで使用すると、本製品や電子機器にノイズが入ることがあります。
- USB Type-C 充電端子が汚れた場合は、乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このときに端子を変形させないでください。
- 本製品は長い間使用すると、紫外線(特に直射日光)や摩擦により変色することがあります。
- すべてのパソコン、タブレット、スマートフォンなどの動作を保証するものではありません。
- 専用ケースは湿った状態で使用しないでください。摩擦により色落ちする可能性があります。

## Bluetoothについて

本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従いまして、本製品をご使用するときには無線局の免許は必要ありません。本製品は2.4GHz周波数帯域を使用しています。

Bluetoothは2.4GHz無線機や無線LAN機器と同じ周波数帯域であり、同じ周波数帯域を使用する他の機器に影響を与えることがあります。

- 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局※」が運用されていないか確認してください。
- 万一、本製品と「他の無線局※」との間に電波干渉が発生した場合は、使用場所を変更するか、または本製品の使用を停止してください。

※「他の無線局」とは、本製品と同じ2.4GHz帯を使用する産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の生産ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局を示します。

## 無線製品について

本製品を下記のような状況でご使用になるのはおやめください。

- 本製品を心臓ペースメーカーや補聴器など医療機器の近くや医療機関の中でお使いになるのはおやめください。医療機器に影響を与える危険性があります。
- 電子機器や無線機器の利用が禁止されている場所での使用はおやめください。
- 電子レンジをご使用のとき、電磁波の影響によって、本製品の無線通信が妨害されることがあります。

## 防水仕様について

●本製品は、USB Type-C 充電端子のカバーがしっかりと装着された状態で、IPX4相当の防水仕様となっています。完全防水仕様ではないため、水をかけたり、水に浸さないでください。また、お風呂などの高温多湿の場所では使用しないでください。故障の原因となります。

●付属のUSBケーブルと専用ケースは、防水仕様ではありません。

## 内蔵バッテリーについて

●バッテリーには寿命があります。充電しても機能が回復しない場合は寿命ですので、本体の交換が必要です。劣化したバッテリーを使用し続けると破裂・発火・発熱の原因となります。なお、寿命は使用状態によって異なります。

●バッテリーは消耗品です。バッテリーの充電性能が低下した状態でそのまま使用し続けると、急に電源が切れることがあり、故障などのおそれがあります。

●バッテリーは一般的な特性として、低温時には性能が低下します。低温環境下でお使いになるときは、本製品を冷やさないようにしてください。

●周囲の温度が5～35℃の範囲を超える場所ではお使いにならないでください。バッテリーの性能劣化や故障の原因となります。

●充電直後に本製品の温度が上がることがありますが、性能の他に異常はありません。

●はじめてご使用になるときや、長時間ご使用にならなかったときにご使用前に充電してください。

●長期間使用しない場合は、高温多湿を避けて保管してください。また、バッテリーの劣化を防ぐために3～5か月に一度充電してください。

●バッテリーは、お客様ご自身で取り外しや交換をおこなわないでください。

# 目次

## ● はじめに

安全上のご注意	2
取り扱い上のご注意	3
目次	4

## ● ご使用前の準備

セット内容	5
各部の名称と機能	5
充電のしかた	6
バッテリー残量確認方法	7
ケースへの収納について	7

## ● 基本の使い方

装着する	8
電源を入れる/切る	8
Bluetooth機器とペアリングする	9

## ● 機能について

通話する	10
音楽を聴く	11
マルチポイント接続	12
その他の機能について	14

## ● 付録

故障かなと思ったら	15
お手入れのしかた	15
主な仕様	16
アフターサービス	16

# ご使用前の準備

## ■ セット内容

CMM10本体／USB充電ケーブル(Type-A/Type-C)約1.2m／専用ケース／  
クイックスタートガイド(保証書付)

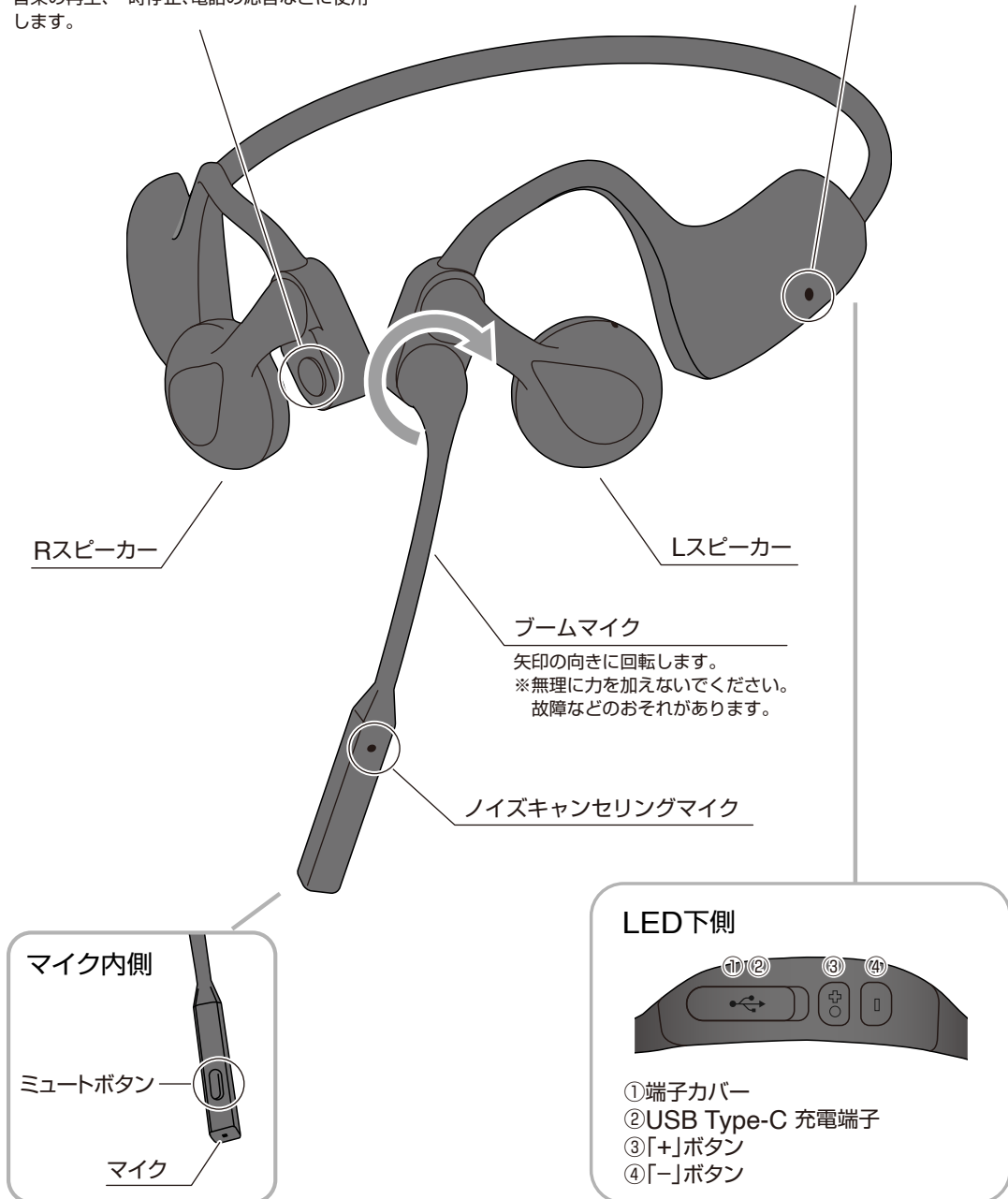
## ■ 各部の名称と機能

### マルチファンクションボタン(MFB)

音楽の再生、一時停止、電話の応答などに使用  
します。

### LED

バッテリー残量や動作状況を示します。  
※電源OFFの状態でも+ボタンをクリック  
するとLEDが点滅することがありますが、故障  
ではありません。



# ご使用前の準備

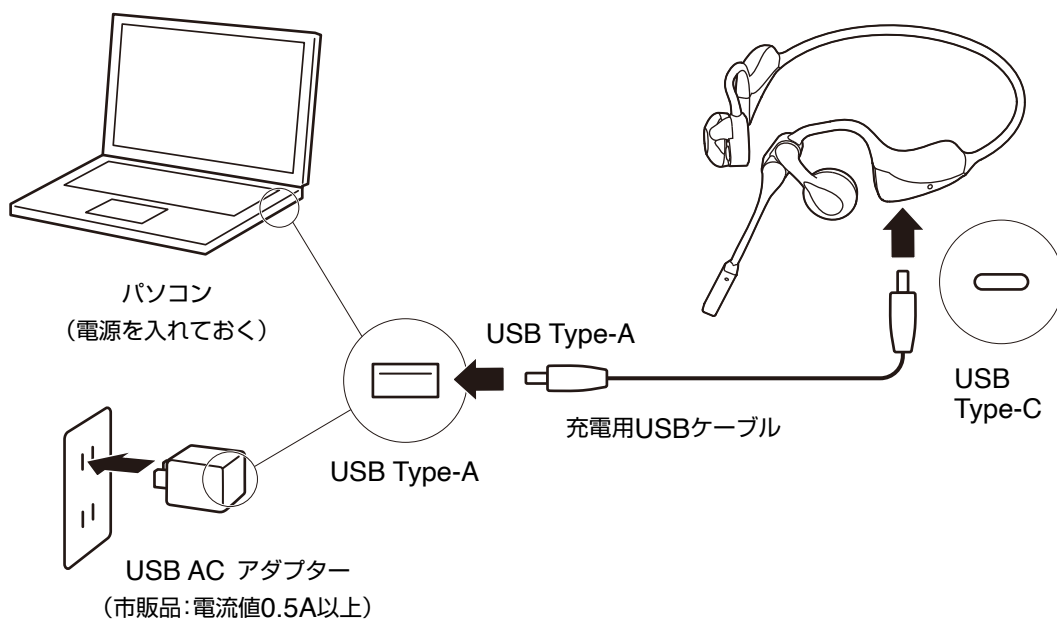
## ■ 充電のしかた

本製品を使用する前に、充電をしてください。

同梱の充電ケーブルで本製品とパソコンなどのUSB端子を接続して充電します。

- 1 本製品の電源をOFFにします。
- 2 端子カバーを開け、USB Type-C 充電端子に充電ケーブルを接続します。
- 3 充電中はLEDが赤く点灯します。充電が完了するとLEDが青く点灯します。
- 4 充電完了後、充電ケーブルを取り外して、端子カバーを閉めます。

※カバーを閉めずに使用、放置すると中に水が入る可能性があり、故障の原因になります。



### ご注意

- ・ 充電をする場合は必ず本体の水分を拭き取り、水分の付着がないことをご確認の上、付属のUSB充電ケーブルで充電してください。
- ・ USB ACアダプタをお使いになる場合は、必ず電流値が0.5A以上のものを使用してください。それ以外のものを使用すると故障や異常発熱の原因になります。
- ・ 本製品の電源をONにした状態で充電を行うと、電源が自動でOFFになります。充電中に再度電源をONにすることができますが、その状態で使用を続けるとバッテリーの劣化を促進する恐れがありますので、充電中は必ず電源を「OFF」にしてください。

# ご使用前の準備

## ■ バッテリー残量確認方法

通話や音楽を再生していないとき、「+」ボタンか「-」ボタンを1回クリックするとバッテリー残量を示す音声ガイダンスが流れます。

音声は「バッテリーは充電されています」「バッテリーはおよそ半分です」「充電してください」のいずれかです。

- 残量が少なくなると

音声ガイダンス「充電してください」が定期的(約5分おき)に流れます。

- 残量がなくなると

LEDランプが3回赤点滅し、音声ガイダンス「終了します」が流れ、本製品の電源が自動的に切れます。

## ■ ケースへの収納について

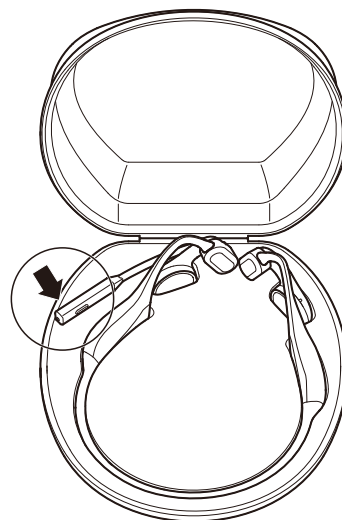
本製品を使用していないときは収納ケースに入れて保管してください。

本製品をケースに下図のようにセットし、上フタを閉めてください。

※右の図のように、ケースの型に合うようにセットしてください。

### ご注意

- ・ ケースを閉める際にマイクを挟みそうな場合は、マイクを内側に入れながら閉めてください。

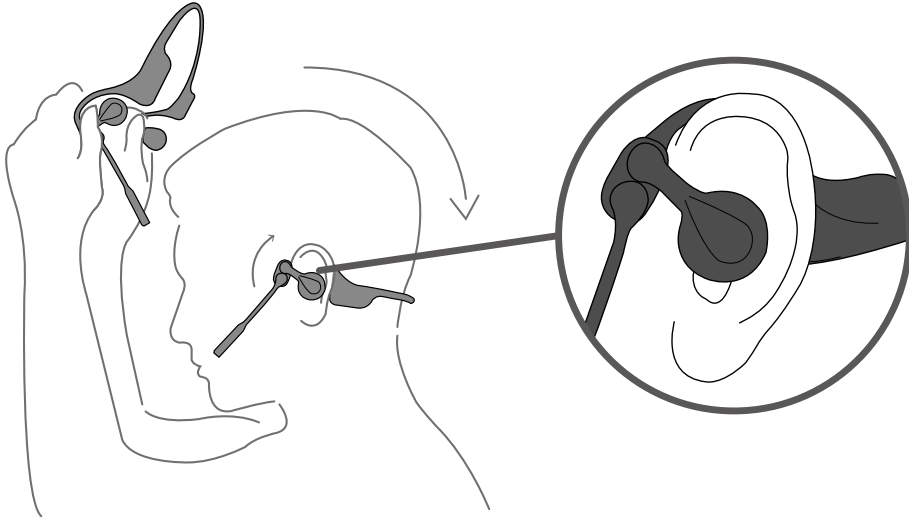




# 基本の使い方

## ■ 装着する

- 1 スピーカー部分が耳の穴の上にくるように装着してください。
- 2 マイクを使用する場合はマイクを回転させて口元に近づけてください。



## ■ 電源を入れる／切る

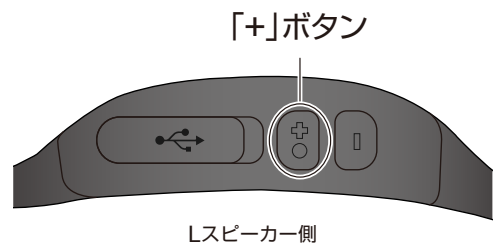
### 電源ON

「+」ボタンを約2秒間長押ししてください。「起動します」という音声ガイダンスが流れ、LEDが約1秒間青く点灯し電源がONになります。

### 電源OFF

「+」ボタンを約3秒間長押ししてください。「終了します」という音声ガイダンスが流れ、LEDが約1秒間赤く点灯し電源がOFFになります。

※Bluetooth機器と未接続の状態では約10分間経過すると、電源は自動でオフになります。



# 基本の使い方

## Bluetooth機器とペアリングする

本製品とBluetooth機器を接続する場合は、本製品とペアリングする必要があります。

- 1 本製品を電源OFFの状態から、「+」ボタンをLEDが赤と青に交互に点滅するまで(約5秒間)長押ししてください。「ペアリングモードです」という音声ガイダンスが流れ、ペアリングモードになります。

※電源がONになった後、LEDランプが点滅する前に手を離れた場合、ペアリングモードになりません。その場合は、電源をOFFにして、再度手順1のペアリング操作を行ってください。



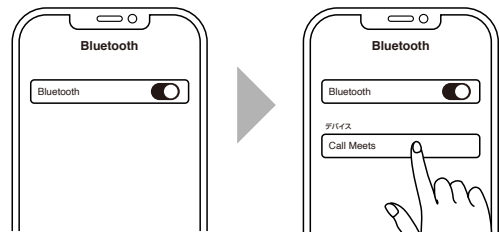
### ペアリングについて

- ・ 機器を初めて接続する際はペアリングを行う必要があります。一度ペアリングしたBluetooth機器とは、再度ペアリングする必要はありません。
- ・ 本製品は一度ペアリングを行ったデバイスの情報を最大8台まで記憶することができます。8台を超えて登録すると古い登録から消去されます。
- ・ 以下の場合は、一度ペアリングしたBluetooth機器であっても再度ペアリングが必要です。その場合は、Bluetooth機器のデバイスの登録を解除してからペアリングしてください。
  - Bluetooth 機器の接続履歴から排除された場合
  - 本製品を買い替えたり修理に出したりした場合
  - 本製品をリセットした場合

- 2 接続する機器でBluetoothをONにして、Bluetoothメニューから「Call Meets」を選択してください。

※Bluetooth機器を本製品から1m以内に置いて操作してください。

※Bluetooth機器の使用方法は、機器の取扱説明書を参考にしてください。



### ペアリング済みの機器と接続する

接続する機器側のBluetoothがONの場合、本製品の電源をONにすると自動で接続されます。30秒以内に接続できない場合、「ピッ」という確認音がします。その場合、Bluetooth機器から「Call Meets」を選択して接続するか、MFBを1回クリックして自動接続を行ってください。

※一番最後の接続機器との接続が優先されます。最後に接続した機器が近くにある場合はその機器のBluetoothをOFFにするか接続を解除し、接続したいBluetooth機器から「Call Meets」を選択してください。

- 3 本製品のペアリングが完了し、Bluetooth接続されると、「接続しました」という音声ガイダンスが流れ、LEDが約1秒間青く点灯します。

※120秒経過してもペアリングできない場合は、「ピッ」という確認音とともにLEDが消灯します。電源をOFFにし、再度ペアリング操作をしてください。



# 機能について

## ■ 通話する

接続した機器に電話機能が搭載されている場合、本製品を使用して通話ができます。  
接続した機器が着信すると、本製品から着信音が鳴り、LEDが青色に点滅します。  
音楽再生中に着信があった場合は、音楽が一時停止します。

使用状態	操作	音声ガイダンス	LED
電話に出る	着信時に MFBを1回クリック	確認音「ピッピッ」	青点灯後 消灯
電話を切る	通話時に MFBを1回クリック	確認音「ピッ」	—
通話を拒否する	着信時にMFBを 約2秒間長押し	確認音「ピッ」	—
マイクの消音/ 消音解除	ミュートボタンを 1回クリック	消音時 「ミュートしました」 消音中 定期的(約10秒おき)に 確認音「ピッピッ」 消音解除 「ミュート解除しました」	定期的 (4秒おき) に赤点灯

※MFB…マルチファンクションボタン

# 機能について

## ■ 音楽を聴く

接続した機器の取扱説明書に従って、音楽を再生してください。

使用状態	操作	音声ガイダンス		LED
音楽再生／一時停止	MFBを1回クリック	確認音「ピッ」		—
次の曲にスキップ	MFBを2回クリック	確認音「ピッ」		—
前の曲にスキップ	MFBを3回クリック	確認音「ピッ」		—
音量調整	音楽が再生されているときに「+」か「-」ボタンで調節	最大音量のとき	高い確認音「ピー」	—
		最小音量のとき	低い確認音「プー」	
		それ以外のとき	確認音「ピッ」	
イコライザー切り替え	音楽が再生されているときに「+」と「-」ボタンを同時に約3秒間長押し	「スタンダードモード」 「ボイスモード」		—

※MFB…マルチファンクションボタン

### ●イコライザーについて

イコライザー切り替えで、お好みの音質に切り替えることができます。

- ・スタンダードモード:音楽再生に適しています。
- ・ボイスモード :人の声などの中音域を強調します。

※本機能は音楽再生(A2DP)時のみ適用され、通話をとまなう場合(HSP、HFP)は適用していません。

# 機能について

## ■ マルチポイント接続

本製品は、2台のBluetooth機器を同時に接続することができます。  
ご使用の機器によってはマルチポイント接続時の動作が不安定になることがあります。

### ●マルチポイント接続

#### 1 ペ어링モードにする

本製品を電源OFFの状態から、「+」ボタンをLEDが赤と青交互に点滅するまで(約5秒間)長押ししてください。

「ペ어링モードです」という音声ガイダンスが流れます。

#### 2 マルチポイントモードにする

MFBボタンと「+」ボタンを同時に3秒以上長押ししてください。

(同時に押す際、MFBボタンを先に押してから「+」ボタンを押してください。)

「マルチポイント接続を開始します」という音声ガイダンスが流れます。

#### 3 1台目の機器を接続する

1台目に接続するBluetooth機器のBluetoothメニューから「Call Meets」を選択してください。

1台目の機器が接続されると「接続しました」という音声ガイダンスが流れます。

#### 4 電源をOFFにする

「+」ボタンを約3秒間長押しして、電源をOFFにします。

#### 5 2台目の機器を接続する

1の手順と同様にペ어링モードにした状態で、3の手順と同様に2台目の機器に接続します。

#### 6 接続の完了を確認する

再度電源をOFFにした後、電源をONにすると、登録した2台のBluetooth機器に自動接続されます。

1台の機器が接続されるごとに「接続しました」の音声ガイダンスが聞こえます。

※2台接続するのに、少し時間がかかる場合があります。

### ●マルチポイント接続の終了

ペ어링モードにした状態で「-」ボタンとMFBボタンを同時に3秒以上長押ししてください。

「マルチポイント接続を終了します」の音声ガイダンスが流れ、マルチポイント接続が終了します。

マルチポイント接続が終了すると、1台のみしか接続できない状態になります。

# 機能について

## ●マルチポイント接続でできること

本製品に2台の機器を同時にBluetooth接続すると、以下のようなことができます。

### 例:2台のスマートフォンの着信を待受ける

本製品1台で、接続した2台のスマートフォンの着信を待ち受けることができ、どちらのスマートフォンに着信があった場合でも対応することができます。

1台目の機器で通話中に2台目の着信があると定期的(約3秒おき)に「ピピッ」という確認音が鳴り、LEDが青色に点滅します。

使用状態	操作	音声ガイダンス	LED
現在の電話を切って 2台目の着信に出る	2台目に電話がきているときに MFBを約2秒間長押し	確認音「ピッピッ」	—
現在の電話を保留にし 2台目の着信に出る	2台目に電話がきているときに MFBを1回クリック	確認音「ピッ」	—
保留の切替 (現在の通話を保留にし もう1台の保留中の 電話に出る)	MFBを1回クリック		—
現在の通話を切り 保留中の電話に出る	MFBを約2秒間長押し	確認音「ピッ」	—

※MFB…マルチファンクションボタン

## ●マルチポイント接続中の音楽再生について

音楽再生の機器を切り替えたいときは、再生中の機器の音楽を停止してから、もう一方の機器で音楽を再生してください。

# 機能について

## ■ その他の機能について

### ●リセット

本製品を初期化します。

※本製品が正しく動作しないなど不具合が生じた場合にお試しください。症状が改善する場合がございます。

### ●言語切替

音声ガイダンスを日本語、英語、中国語に変更できます。

### ●音声アシスタント

iOSではSiri、AndroidではGoogleアシスタントを起動できます。

使用状態	操作	音声ガイダンス	LED
リセット	ペアリングモードの状態 「+」「-」ボタンとMFBの 3つのボタンを同時に 3秒間長押し	「リセットしました」	3回青点滅
言語切替 (日本語→英語→中国語)	ペアリングモードの状態 MFBを3回クリック (3回クリックするごとに言語が切り替わります。)	各言語での アナウンス	切替ごとに 赤点灯後消灯
音声アシスタントを 起動する	通話と音楽が停止されている 状態でMFBを約2秒間長押し	確認音「ピッ」	—

※MFB…マルチファンクションボタン

## 故障かなと思ったら

症状	解決策
電源が入らない	本体が充電されているか確認してください。
ペアリングができない	別の機器と接続していないか確認してください。 本製品に登録できるBluetooth機器は最大8台です。それを超えて登録すると古い登録から消去されます。Bluetooth機器で本製品とのペアリング情報を削除してから再度ペアリングしてください。
音が出ない	本体の電源が入っているか、音量が小さすぎないか確認してください。 本製品とBluetooth機器が接続されているか確認してください。 本製品とBluetooth機器のペアリングを解除した後に再度ペアリングしてください。 Bluetooth機器の音声出力先が本製品になっているか確認してください。 本製品とBluetooth機器の間に人、金属、壁などの障害物を無くし、距離を近づけてください。 一時停止されていないか確認してください。
音が割れる／ノイズが出る	音量を小さくしてください。 本製品を電子レンジ、無線LANなど電波を発する機器から離してください。 本製品とBluetooth機器の間に人、金属、壁などの障害物を無くし、距離を近づけてください。
相手の声が聞こえない／相手の声が小さい	本体の電源が入っているか、音量が小さすぎないか確認してください。 本製品とBluetooth機器がHFP／HSP(または通話接続)で接続されているか確認してください。 本製品とBluetooth機器のペアリングを解除した後に再度ペアリングしてください。 Bluetooth機器の音声出力先が本製品になっているか確認してください。
通話中自分の声が相手に聞こえにくい	マイクの位置が離れていると相手に声が伝わりにくくなるため、マイクを口元に合わせているか確認してください。
充電ができない	付属の充電用USBケーブルを確実に接続して充電してください。

## お手入れのしかた

長くご使用いただくために各部のお手入れをお願いいたします。お手入れの際は、アルコール、シンナーなど溶剤類は使用しないでください。本体やケーブルが汚れた場合は、乾いた柔らかい布で汚れを拭いてください。



# 主な仕様

外形寸法	: 約120(W)×150(D)×46(H)mm ※ブームマイク含まず
質量	: 約36g
電源	: リチウムイオンポリマーバッテリー
インターフェイス	: USB Type-C 充電端子
充電時間	: 約1時間
連続使用時間	: 音楽再生 約16時間／通話 約12時間 待機 約336時間 ※使用環境・状況によって異なります。
防水等級	: IPX4(USB充電ケーブル、専用ケースを除く)
セット内容	: CMM10本体／USB充電ケーブル(Type-A／Type-C)約1.2m／専用ケース／ クイックスタートガイド(保証書付)
動作環境	: 温度5～35℃ 湿度30～80%(非結露)
保存環境	: 温度-10～55℃ 湿度5～80%(非結露)
通信方式	: Bluetooth標準規格Ver.5.2
使用周波数帯域	: 2.4GHz帯
通信距離	: 約10m
対応プロファイル	: A2DP、AVRCP、HSP、HFP
対応コーデック	: SBC、AAC、aptX、aptX HD

## マイク

型式	: MEMS
指向特性	: 全指向性
感度	: -38dB±3dB

## スピーカー

再生周波数帯域	: 20～20,000Hz
インピーダンス	: 16Ω

# アフターサービス

## 保証書

保証書は販売店・お買い上げ年月日等の記入をお確かめのうえ、販売店よりお受け取りください。保証書と保証規定の内容をよくご覧のうえ、大切に保管してください。

## 修理に出されるときは

保証期間内は、保証規定に基づいて修理いたします。製品および保証書をお買い上げ販売店までお持ちください。保証期間後も、修理によって使用可能なときは、ご要望により有償で修理いたします。製品をお買い上げ販売店までお持ちください。なお、当社の都合により代替品に交換することで修理に変えさせていただく場合がございます。

## お問い合わせ

アフターサービスについてご不明な点やご相談は、お買い上げ販売店、キングジム商品取扱店または当社お客様相談室にお問い合わせください。

フリーダイヤル(全国共通) ナットクのパートナー  
お客様相談室 ☎0120-79-8107

FAX からの場合 0120-79-8102  
携帯電話からの場合 0570-06-4759 ※通話料お客様負担  
受付時間: 平日(月～金曜日) 午前9:00～午後5:00

**株式会社キングジム**

東京都千代田区東神田二丁目10番18号  
〒101-0031  
<https://www.kingjim.co.jp/>